

協議会だより

2011 3月号

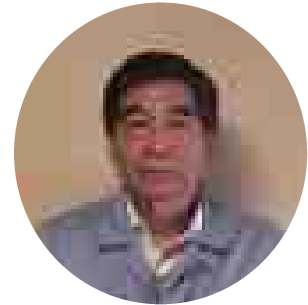
NO.40

山口県農地・水・環境保全向上対策協議会

地域リーダーの声 Part.6

赤谷地域資源保全会（下松市）

代表 中村英隆



当地域は下松市の北部、標高350m錦川上流の山間部に位置し、面積23aの農業振興地域で水稲を中心としたこぢんまりとした農村集落です。下流には周南地域の生活用水として菅野ダムが存在しているため、水質保全に対する地域住民の関心が高く、水田からの濁水流出防止やゴミの不法投棄防止を目的とした地域一斉清掃等の自然環境保護活動に地域ぐるみで取り組んでおります。

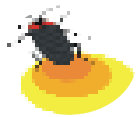
赤谷の清流はホタルの名所です。毎年6月には自然環境保護の検証活動として、「ホタル見会」を開催し“ホタルの生態勉強会”をしながら、ホタルが乱舞する姿を見て活動の成果を確認しております。

現在、平成20年度より「県営生物多様性対応基盤整備促進パイロット事業」に取り組んで、生物にやさしい農業用施設を工事中で、環境配慮型護岸水路・ビオトープの設置と並行して行っております。また、施設の整備と並行して、有識者と共同で生物調査を実施しております。

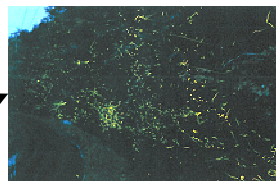
この生物調査では貴重な植物（ヤマヒヨドリ）や、今まで見逃していた水性生物（ヌマエビ、ドブシジミ等）も確認でき、多彩な生物の存在をあらためて教えられました。

自然環境を守り生物と共生しながら、地域が発展していくことの大切さを感じています。

保全会は、このすばらしい地域の宝である自然環境を、農地・水・環境保全向上対策の活動を通じて次世代へ継承して行くことが使命であります。



ほたるの乱舞の様子



農地・水・環境保全向上対策支援交付金に係る抽出検査（主催：中国四国農政局）がありました。
平成23年1月18日（火）～19日（水） 県内4活動組織を対象

検査概要

- 検査の内容
今年度の金銭出納簿・領収書・通帳のつきあわせを行い、支出内容について確認し、活動内容については写真と日報も確認。
- 主な指摘事項
 - ①日当、役員報酬の単価は総会で承認を得て、書面で保存しておくこと。（構成員への周知が大事）
 - ②領収書に内訳を記載すること。（缶ジュース ○本等）
 - ③領収書の印もれに注意。
 - ④収入印紙、切手等はお金と同じなので保管場所に注意。
 - ⑤コピー用紙、飲み物等はまとめて購入してよいが、使用実績を整理すること。
 - ⑥通帳には農地・水交付金に関係のない収入や支出を入れない。

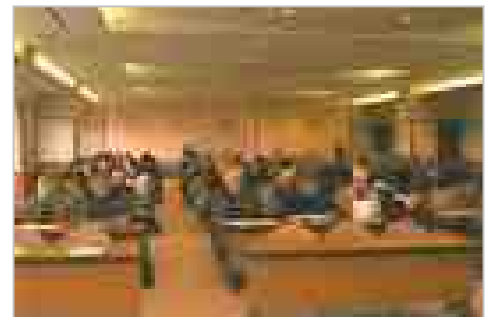


小月環境保全会（下関市）

農地・水・環境保全向上対策に係る制度説明会（主催：山口県農村整備課）が開催されました。
平成23年1月20日（木）～2月4日（金） 県内16会場

この説明会では、水路等の施設の長寿命化のための活動に対し追加的に支援する「**向上対策支援交付金**」についての説明がありました。この制度の見直しにつきましては、協議会だより NO.39号でお知らせしたところです。

また、先進的営農活動支援について、これまではH23年度の実組の上限は「H19～21年度実績及びH22年度計画」の中で、最高額としていましたが、「**前年度までの計画における金額の範囲内で支援する。**」との考え方に訂正されました。



山口支部 会場

山口県農地・水・環境保全向上対策協議会の幹事会が開催されました。
平成23年2月23日（水） 水土里ネット山口

平成23年3月16日開催予定の総会に付議する事項（平成23年度収支予算等）について協議されました。

協議会からのお願い

- ① 「アンケート調査」の提出について
- ② 「活動組織自己紹介集」の提出について

（平成23年3月25日までに協議会までご送付くださいますようお願いいたします。）

